



Ragnarok Online Fanbook

# 姫騎士 アイム 3

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



そっち行ったよ!

オツケー  
まかせて!

異世界  
カミダル山麓付近

おおかた  
片付いたね

この討伐が済めば  
リユート隊長の所  
いけるよ

恋人を探すために  
先に戻ったときは  
どうなるかと思っただけど

久しぶりに会えるのが  
嬉しそうね

知ってるわよお  
あんた隊長に  
惚れてたでしょ

うるさいわね  
ほっといてよ

今でしょよ?  
照れちゃって

イルティナさんだっけ  
見つかるの良いね

大丈夫よ  
隊長のことだもの  
さっと今頃

お互いの愛を  
確かめ合ってるわよ

ちやんとレディ達に  
サービスしてきたか？

喜んだら  
アイツら  
面食いだしなあ

よお  
お帰りい

同時刻

オーク・ボバの家

こっちはまだ  
オシオキ中だよ

ご主人様から逃げんとした  
悪い子だからなあ  
しつかり躰けねえと

こうして尻穴さ  
ほじってやって  
るんだが

いあああ

おちか...



こっちの穴も  
いいもんだなあ

あつたけえ肉が  
奥までみっちり詰まった  
肉まんじゅうみてえだ♥

お願い  
見ないで……

リユート……

王子様の  
代わりに

こっちも  
オラがしっかり  
使い込んでやるからな



だっ!だっ!だっ!

おろおろ



暴れるでねえ  
この傷の札に  
八つ裂きにしてやっても  
いいんだぞ

姫様が泣いて頼むから  
生かしておいて  
やっってるんだ

ベットの分際  
で反抗しやがって

リユート?

お願い  
リユートに  
酷い事しないで!

はは  
分かった  
分かった♪

——ってわけだ

そこで大人しく  
見てろ♥



ギョウ!

ギョウ!

ギョウ!

ギョウ!



ほうれ  
お尻ペンペン  
だあ♪

こりやええ♥  
叩く度に  
締めまりさ良くなるぞ



しかも  
ぶるんぶるんと  
波打ってるでねえか♥

騎士様のくせに  
尻にこったな  
脂乗つけてえ

ほんでに  
安産型の桃尻だなあ♥



お尻  
広がっちゃう

ユルユルに  
なっちゃう

便通良くなって  
いい♥

イルティナ



すまない...  
君を一人  
残してきたばかりに

もう二度と  
他の雄に喰<sup>ま</sup>されて  
逃げ出すでねえぞ  
分かったかあ?

アッ!  
アッ!

アッ!  
アッ!

アッ!  
アッ!

こんなことにな  
ってしまった



このまま腹の奥に  
たつぷりと  
射精してやるからな

貴重な子種だ  
腸で残さず吸収して  
しっかり栄養にするだ♡

アッ!  
アッ!



アッ!  
アッ!  
アッ!



だすぞだすぞっ  
濃ゆいの  
めい一杯っ!

俺の責任だ

アッ!  
アッ!

アッ!  
アッ!

アッ!  
アッ!







ふん  
しつこい奴ちや

誓ったんだ



やめろ!!

やめろ!!

やめろ!!

酷いわ  
彼の前で  
こんなこと

構わねえ構わねえ♪  
もつと見せつけてやんべ♡

やめろ



君のナイトに  
なると!!

何度だって  
やってやるさ  
……!!

愛する人を  
見放せるか!



やめろ!!

いやっ——んっ

お前等  
肉欲だけのオークには  
負けない

絶対に！

リユート……♡

しゃあねえ  
勝負してやるか

ただし  
ど突き合いじゃねえ  
お前の言うとおりに

姫様に決めて貰うんだ  
オラとお前  
どちらの雄を選ぶか

もし勝てたら  
二人とも  
解放してやる

有利だぞ？  
今日はコッチさ  
使っていないからな

どうする  
王子様？

すまない  
イルティナ……

こんなことになつてしまつて……

謝らないで私が悪いの

愛してるイルティナ

私も……リユート

ほれえ早くしろ

くそ……勃たな……



イルティナッ  
イルティナッ  
イルティナッ

えっ……?

……

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

どうだ？  
久しぶりの  
恋人のチ○ポは？  
気持ちええか？



と  
当然よ  
アンタなんかより  
ずっと良いわ！

それにしちや  
不満そうな顔してた  
からよお



そっ  
そんなことない！

アンタのより  
ずっと大きくて  
硬いわ！

うっ  
動かないでよ

私たち心から  
愛し合ってるんだから

体の相性だって  
すこく



す  
素敵よりユート  
気持ち良いわ

遅いオ○ンチンが  
奥まで……



も  
もうすぐ  
イツちやいそう  
……





どとうしたの  
リユート  
顔真っ青……

やっ駄目っ  
頑張って

カッカッカ  
情けねえ

大見得切って  
その様かあ？  
雄として最低だな  
好きな雌を  
満足させて  
やれねえってのは

レデイたちに  
何発搾り取られたか  
知らねえけどよお

そんな貧相なモノじゃ  
姫様は満足させられねえぞ





オラなら何度でも  
愛してやれる

姫様が  
求めるだけなあ♪

挿入音

あ

あああああ♡♡♡



絡みつくう♡  
姫様のはやつぱり  
名器だあ♪

なく姫様が  
オラの方が  
いいべ?

体でこんな  
正直に答えてるのに  
嘘はよくねえなあ♪







イルティナ  
あんな  
おぞましいモノを  
根本まで

あゝ  
良い匂いだあ♡

発情した雌の醜す

蒸れっ蒸れの体臭

腋汗 美味え

認識が甘かった  
彼女と離れていた  
この数ヶ月という  
時間がどれだけ

お腹の中  
いるばい♡

オウの  
おんまん

ニすれ  
てま

ああ  
ああ♡

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ



長かったか

ほろれ  
イッ  
ちまえ



おーおー  
気持ち  
良さそに♪



ち……  
違うからね  
リユート

お……  
思っていないから  
そんなことっ



ほんでスケベだなあ  
姫様は♡

何度イッても  
オラのモノ  
くわえ込んで  
離してくれねえ♡

「もっとチ○ポ欲しい♡」  
っっておねだりしてくる♪

アナタのほうが  
素敵よ……

こんなの全然  
気持ちよくなんか



おーおー  
長替ちま

あーあー  
あーあー  
あーあー

イルティナの  
あんな表情を見たのは  
初めてだ

子袋さ完全に  
下がっちゃまってんぞ

オラの子  
孕む気  
満々だな

こつたな締め付けて  
種汁をいって

気ば抜くと  
押し取られちまう  
そうだった

姫さま

2人の四脚  
交換しあふんぞ

んみちち  
んみちち  
んみちち

見なSR...

おん







確かにそれらしい事は  
言ったけどなあ？  
それを命令と勘違い  
しちゃったんかなあ

だから  
さっきのは

姫様自身の  
言葉だよ

**アッ!**

優しいなあ  
姫様は

“元”恋人  
気遣って  
あんな優しく  
言うなんてな

どうせまだ  
疑ってたんだべ？  
姫様の本心じゃ  
ねえって

見せてやつか  
余計なタテマエ  
取っ払ってよ

**アッ!**

これが本当の  
“命令”だ



……はい  
隠さずに  
答えます

私が  
好きなのは

断つ然♥こつちです♥  
オークのオ○ンチン♥

太さも長さも  
スゴいけど  
それだけじゃないの

クスクス……  
無理です

だって  
知つちやったから

ぬゝゝゝ = ぬゝゝゝ  
ぬゝゝゝ

うん  
比べて分かったの  
「あの人の」  
オ○ンチンって

粗末

だから私

……  
何度も何度も  
私を愛してくれるの  
……♥

すつこく長持ち  
……

そつちは  
要らないです♥

てわけたよ

いやあ  
ああ!!

何言ったの?

今私  
何て言ったの!?

聞いたか王子様  
これが姫様の  
本心だ

これで  
分かったよなあ?

姫様はもう  
お前のものじゃねえ

おん! おん!



オラのもんだ  
心も体もなあ

とちゅ!

とちゅ!

とちゅ!

とちゅ!







もう  
鎧は必要ねえな

オラの妻に  
なるんだからな  
なあ  
イルティナ

ふん  
これも要らねえな

もっといいもの  
買ってやるからな♪



えーっべえ子供さ  
作ろうな♥

コロネットで  
いいのか？

もっと他に  
良いものでも

これがいいの！  
リュートが選んでくれた  
ものだし

それに

あら...

だっ！

だっ！

だっ！

おっ！

おっ！

ん。



大好きだよ  
リュート



おっ

これで私は  
リュートのお姫様  
だよ



素直で  
ええ子だ♡

気持ち  
いいです...

オラのチ○ポはどうだ  
イルティナ  
気持ちええか？

あ♡

君のナイトには  
なれなかった

俺は  
イルティナ

たん  
たん







ゆー



えそれって  
どういう

すまない  
みんな……

ゆあ  
リユート隊長  
お久しぶりです♪  
どうしたんですか？

どこだ  
ここ？

EMCC？





落ち着いて  
ザコよ

蹴散らしてやる！

阿修羅

元気の良い  
娘っこだあ♡

こりやあ  
沢山のへへっ  
産んでくれそうだし



前衛！  
何してんの!?

何で!?  
魔法が使えない!

力が出ねえんだ

後衛ダメです  
スキル発動しません



女は繁殖用に  
男は労働用に  
チームだ！

一匹も逃すで  
ねえぞ

ドカドカ

キーン

キーン





リユート隊長  
これってどういう  
ことですか!?

なんで  
こんなことを

メスだあ  
久しぶりのメスだあ♪

あの騎士様に  
仲間がえらく  
殺されたからよお  
その分産んで貰うぜえ  
お前も2、3匹は  
孕ませてやる

いや、  
はせして

いやあ、

隊長さん



イルティナの妊娠が  
分かったのは  
このすぐ後の  
ことだったの



んんん

リユート  
手を握っていて  
こ怖いの……



後継タメです  
スキル発動しません

ああ……  
大丈夫だよ  
イルティナ  
頑張って

はあ!!  
はあ!!



一匹も逃すで  
ねえぞ

イルティナの初産は  
騎士の正装で  
行われた

つわりの時期から考えると  
初めてティムされた時に  
妊娠したと思われる



俺が彼女を  
助け出そうとしたあの日  
彼女の胎内にはすでに  
オークの赤子が宿っていたのだ

みろよ  
あの姫様が  
獣みていな声  
出してんぞ  
たまらねえなあ♡



ひひ  
はやくオラのヘットにも  
産ませてえぜ



そう言う意味でも  
すでに手遅れ  
だったのだから

おっ♪  
頭出てきたぞ







しかし——

私の  
赤ちゃん……





……まだ  
射精したい？

やっと腹さ収まって  
子作りできるよ  
うになっ  
たんだ

種付けはしっ  
かり  
しねえとな

もう今日は  
朝からずっと

あんな  
エッチな下着まで  
着させて



よく  
似合ってたでねか♡

おき……♡



上手くなったな  
イルティナ♥



ああっ  
気持ちええ……♥



どうした？

……  
なんでも  
ない

穴2つとも  
ピロンピロンに  
伸びちまったなあ



おまけにこの色—  
おぼっこだった頃の  
面影もねえ

もう立派な  
オークの女だぞ  
イルティナ♥

ううっ  
射精すぞお……♡



かき乱される  
すでに  
断ち切ったはずの  
彼女への未練が



いや  
そのように自らを  
誤魔化しているだけか

ここから去らず  
彼女の側に居続ける  
選択をしたときから

いつもの  
集会の

オメんとこのも  
ずいぶんと  
育ったなあ

臨月だとも  
毎晩  
やりまくりだ

今度まとめ  
出産会やんべ

やっぱり  
ニンゲンの雌は  
最高だな

んでよく  
孕んで乳が  
膨れてな

コイツの母乳が  
美味しいのなんの♪

それでも  
オメエのデカマラは  
挟めねえだろ





ハッ!?

リユート隊長

やだっ  
見ないで  
下さい

へへ  
見てろよ  
こうやって  
揉んでやると

むー  
むー

ちよつと  
隊長!  
待ちなさいよ!

おのん♪

姫様奪われたか何だか  
知らないけど  
あたし達をこんな目に  
合わせたくせに



すげえ  
噴水みてえだよ

クッ  
クッ  
クッ

元気が  
いいな♡

都合良く  
逃げるんじゃないわよ  
この卑怯者!!

おしおし  
かめがて  
さまかてな。

はっ  
はなせ!!!

いんこ♡

すまない

すまない

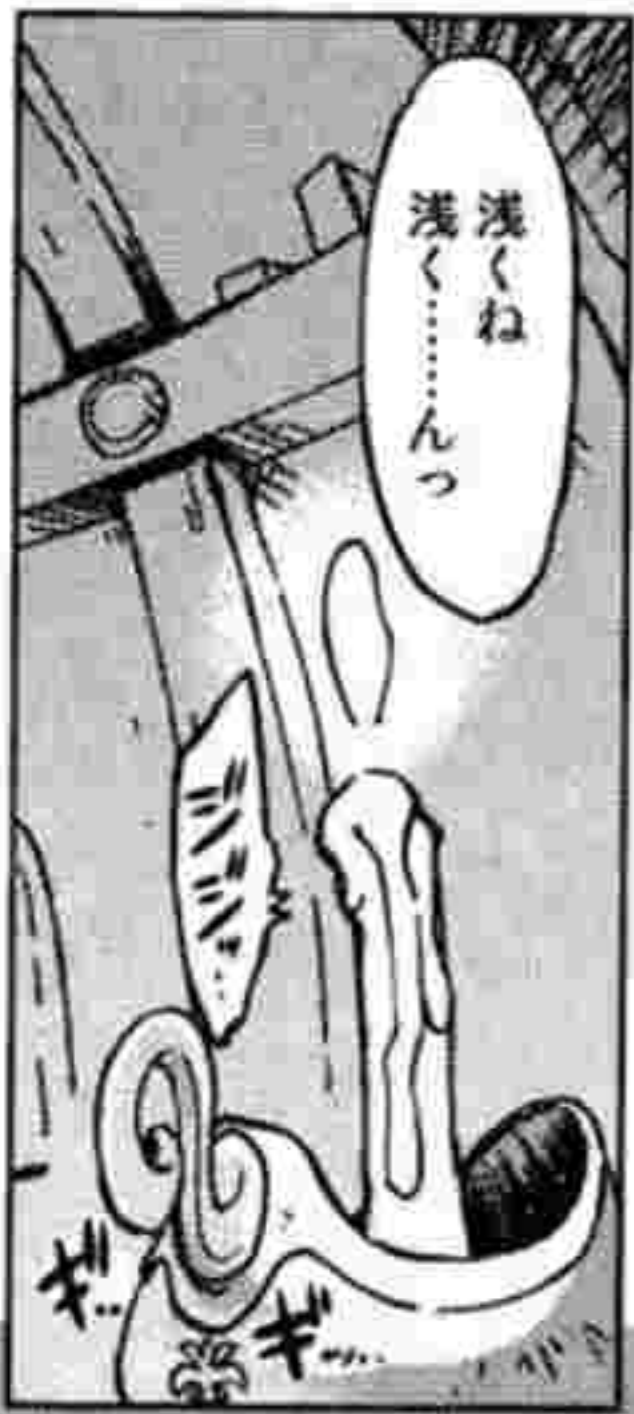
彼女の中に  
すでに俺は  
居ないというのに

大丈夫か?

ん……

二人分は  
重めえなあ♡









お母さんたち  
隣にいるから  
静かにね

飲み過ぎちゃ  
ダメだからね  
赤ちゃんの分  
がー



イルティナの  
母乳は  
甘いなあ♥  
飲み飽き  
ねえ



無くなっちゃ  
.....

おほっ♪  
動いてる動いてる♪  
腹蹴ったぞ

はよ  
産まれてこい

そしたらまた  
種付けて産ませて  
孕ませて

毎年増やして  
大家族作るべえ  
イルティナ♥

どうせ飽きたら  
若い娘を  
タイムするくせに  
……っ

オラはオメさ  
一筋だあ♥

愛してるからな  
イルティナ♥

私わ……  
私もお……



愛してる

おは

おは

おは

おは

人にはそれぞれ  
生きる目的がある

俺の場合  
それは彼女だった

おあ

おあ

おもしろえ

離れよ!!

種汁混ざって  
破水が  
射精みてえだ

お世あ

産みたくない

産みたくない

おあ

ほい  
キバれ

おあ

おあ

彼女を失い  
仲間を失い

いつもの  
滅らす口はどうした

キワニウ  
キワニウ

おあ

そんな俺に  
存在価値など  
無いのかも知れない

おあ

おあ



それでも  
人生の目的を  
見いだすとすれば

やはりそれは  
ここにしかないんだ

おや  
何だいそりゃ？

おや  
先客が居るよ

ああ  
そうだったねえ  
あの二人――

アタイの趣味じゃ  
ないねえ


それよりもさ  
またたつぷり  
楽しませてもらうよ  
ナイト様ア♥

この人かい  
最近タイム  
されたってのは？  
オーク族にはいない  
色男だよ♥





新婚初夜だったね



それが俺の

側にいるよ  
イルティナ  
君の心に  
僕が居なくても



君のナイトの  
最後の務めだから



姫騎士ティム

Ragnarok Online Fanbook

-fin-



milです。  
この度は「姫騎士ティム3」を読んで頂きまして  
ありがとうございました。

本作品で、「姫騎士ティム」シリーズは  
完結となります。  
09年夏に折り綴じ本として作った  
このシリーズが、こんなに長くなるとは  
思っても見ませんでした(： Ⅱ A  
実に5年…！  
続きを楽しみにしてくださってた方も  
いらっしやっただろうで、ほんとうに  
お待たせしてしまいました……。

完結まで他の本をいくつか描きましたが、その裏でちまちまと  
ラフを描き、構想していました。  
そんな姫ちゃん(ネームではそう呼んでいました)とのお付き合いも  
これで終わりとなるわけですね。本当に、感無量です。

長らくお付き合い頂いてありがとうございました。  
ご縁があれば、いつかどこかで

## 姫騎士ティム

発行者: mil/Xration

発行日: 2014/8/17

印刷: コーシン印刷

連絡先: <http://xration.sakura.ne.jp/>  
[mil@xration.sakura.ne.jp](mailto:mil@xration.sakura.ne.jp)